

(肉用牛) 暑熱対策を行いましょう!

今年も厳しい猛暑となりそうです。下記のポイントを参考に対策を行い、大切な家畜を暑熱ストレスから守って生産性を維持しましょう!



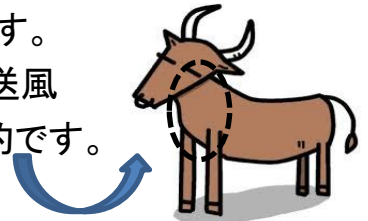
<暑熱対策のポイント>

1. 畜舎内の温度を下げる

- 畜舎屋根の断熱対策→白ペンキや断熱塗料、石灰の塗布
畜舎内の温度が2~3℃下がると言われています。
- 直射日光の遮断→グリーンカーテン、遮光ネットなど
アサガオ、ゴーヤなどのグリーンカーテンは、環境にも優しいです。
- 通風・換気→牛の放射熱、呼吸熱、糞尿からの熱を舎外に放出

2. 牛体からの熱放散の促進!

- 牛体の毛刈り: 牛の体感温度が2~3℃下がると言われています。
- 飼育密度を低くする: 密飼いは牛のストレスにもなります。
- 大型扇風機、ダクト送風機、スポットエアコン等による送風
→ 発汗量の多い首から肩付近に風が当たると効果的です。
- 細霧装置による散水
→ 送風機との併用が効果的!
※湿度が高くならないように注意してください。

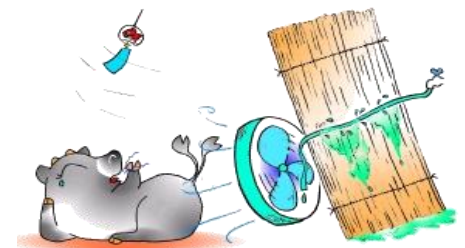


3. 飼料給与などの工夫!

- 乾草を切断する: 長いままだと咀嚼時間が増えて熱の発生が高くなります
- 消化の良い良質粗飼料を与える
- 涼しい時間帯に飼料を給与したり、給与回数を増やす
- ビタミン、ミネラルの補給

4. 飼養環境の改善!

- 常に清潔で冷たい水を給与
- 定期的な敷料の交換
- 夜間に運動場に出し、体温を下げる



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX 32-9019 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp

ご不明な点は、市町村担当者、獣医師もしくは家畜保健衛生所までご相談ください。

暑熱対策具体的事例の紹介

農林水産省パンフレットより

牛舎屋根への石灰塗布

【取組の概要】

肉用牛200頭:宮崎県



【塗布面積】 800㎡ (屋根材:ガルバリウム)

【作業人数】 5人

【材料】 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧器、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)

【塗布方法】 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧器にて屋根へ散布する

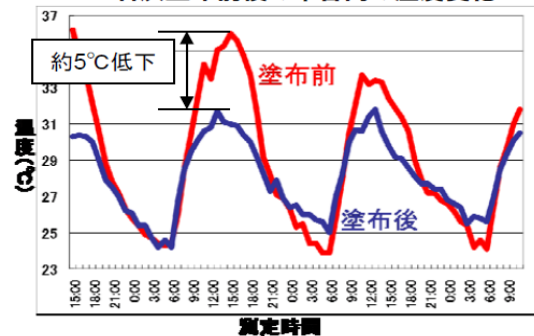
【作業時間】 3時間(実質塗布時間:2時間)

【塗布面積あたりコスト】 33円/㎡

【注意点】 ①石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる(電動ドリルで攪拌)

②長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する

石灰塗布前後の牛舎内の温度変化



【効果】

○屋根裏温度の変化 約15°C低下

○牛舎内温度の変化 約 5°C低下

・夏場の採食量が増えた結果、枝肉重量が増加し、出荷成績の改善につながった

・夏場の飼養管理がしやすくなった

アカザを利用した鶏舎庇蔭 (ひいん)

【取組の概要】

採卵鶏4500頭:群馬県

○自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、全ての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植

○アカザは成長が早く、夏季には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日影ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易

○自生するアカザを用いるため、低コストで容易

※注意点

鶏舎内の風通しの確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。



【効果】 ○夏季の死亡羽数が激減 実施前(H19年)約700羽

→実施後(H20年)約40羽